

人類再考

有限で減少し続ける資源

無限に増加してゆく人口

常に存在する文明衝突

人類はどこに向かっているのだろうか

今一度人類について考える

Looking at things back from Dooms-day might make the world seem different

違和感

奥様は***です。現在の医学では治療できません。
誠に残念ですが、もって後二年でしょう。

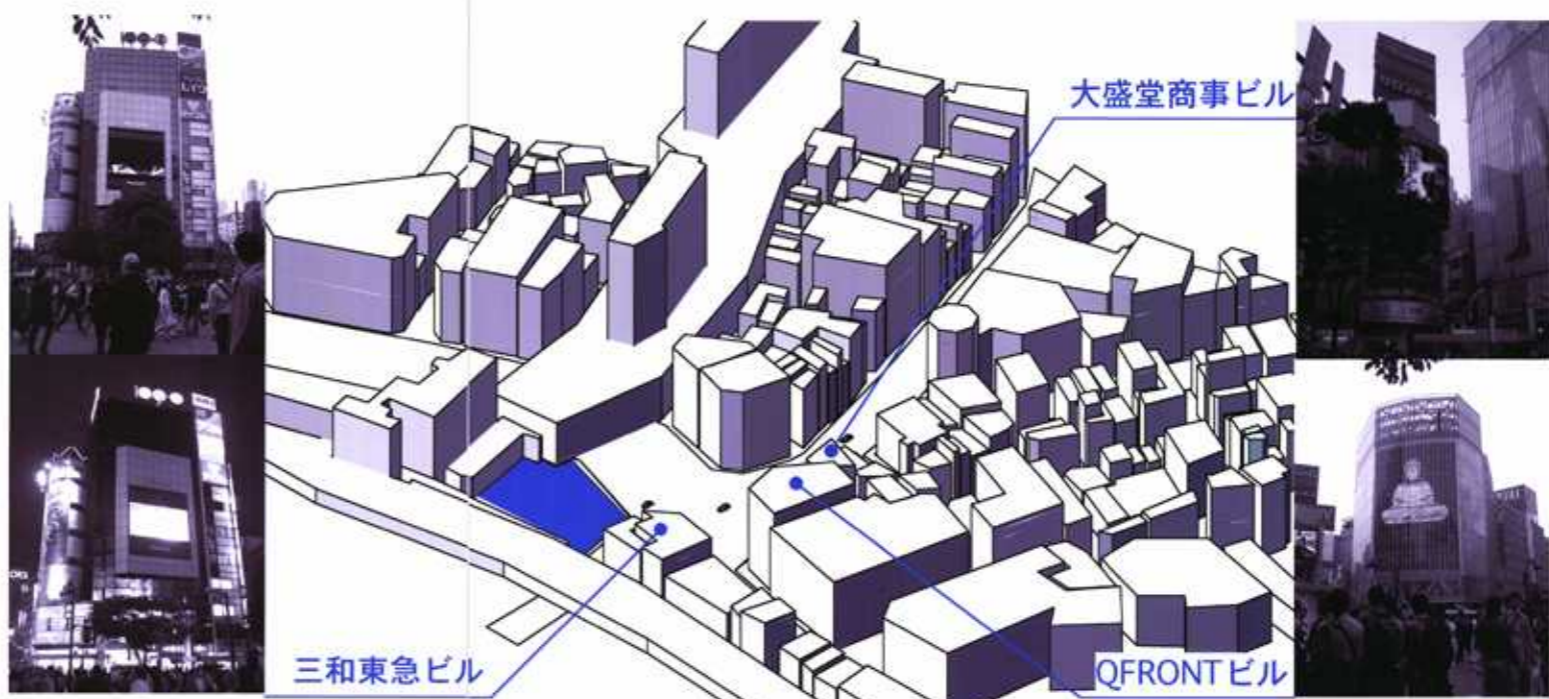
医者はこの発言には、解決策は存在していない。
患者にとってこの発言は、純粋な問いかけでしかない。
残り二年どのようにすごされますか？

現在の地球にも似たような状況にある。
1970年の成長の限界 ローマクラブをはじめ様々な形で
近い将来において地球、人類の滅亡が予想されている。
またそれらの多くは十分な信憑性を含んでいる。

しかし日本において地球の現状は、正しく認識されていない。
各機関、団体の滅亡論はただの予想であり、問いかけではない。
そのような違和感、予想と問いかけの隙間
その隙間を埋める必要性を感じる。



View 1



People



Site S=1:1500



敷地 東京都 渋谷区 ハチ交前広場
 忠犬ハチ公の銅像があり、待ち合わせのメッカとして全国的にも有名であるが、従来は単なる交差点でしかなく、高度成長期に建設された高密度な建物、看板に囲まれることで広場となる

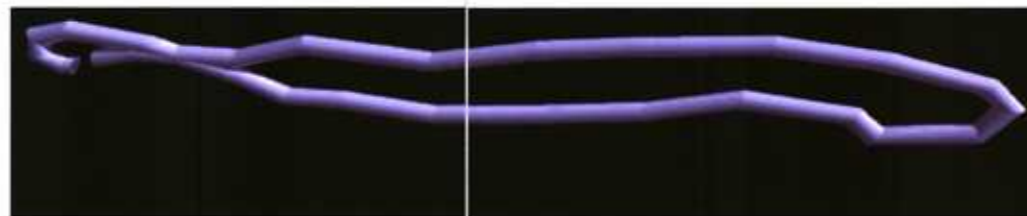
敷地選択の理由
 1 商業や娯楽が先行する代表的渋谷との機能的対比
 2 建築物の印象が看板、液晶スクリーンなどが主である渋谷の建築物の代表であるQFRONTビル、三和東急ビル、大盛堂ビルとの外観的対比



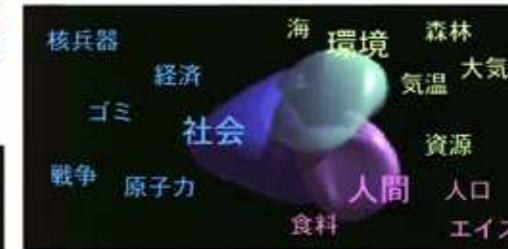
現状
 21世紀を迎えた現在、私達は人類の存続にとって重大な問題を次山抱えています。エイズ、戦争、食糧難やエネルギー危機、ゴミや使用済み核燃料の処理問題、先進国での少子高齢化など、全ての問題への対処が早急に行われなければなりません。しかし右図が示すように、現在の日本において人々の関心に時間的・空間的な広がりはなく、大多数は家族や友人に対する短絡的な範囲に限られています。今一度人類をとりまく問題を、冷静に現実的に考え直す必要があるように思います。

世界的視野
 家系 数年前 生涯 子供の生涯
 時間 日本人の視野

設計概要
 本計画は渋谷ハチ公前広場に、今起きている問題を、環境、社会、人間に大きく分類し各々のgallery、見学者が意見を述べる談話スペース、展示物を制作するスペースそれらを展示するgallery、その諸室をつなぎ前後の関係を主としたリニアなgalleryを提案する。また見学者自身が活動するスペースは、垂直動線によって結ばれ技術進歩による危険性の回避などの楽観的な意見や、理想的な人類の滅亡の提案など時間的・空間的にも広い範囲での、人類の再考が行われるだろう。



創意
 1 人間が個人としてではなく、人類の一員として人類の将来を考えると特異な空間の想像
 2 看板や巨大液晶スクリーンなど、建築物以外が個性を主張する中に成立する象徴的建築の外観の想像



参考文献
 成長の限界 ローマクラブ
 百年の愚考 think the earth
 人間とは何か 須田慎太郎
 地球カルテ 小沢源太郎
 平成12年度版環境白書 環境省
 地球・母なる星 マンセル・リュビエー
 東京都区分地図 国土地理院



concept

人間が人類について思考する空間

人間の原始記憶を空間にする

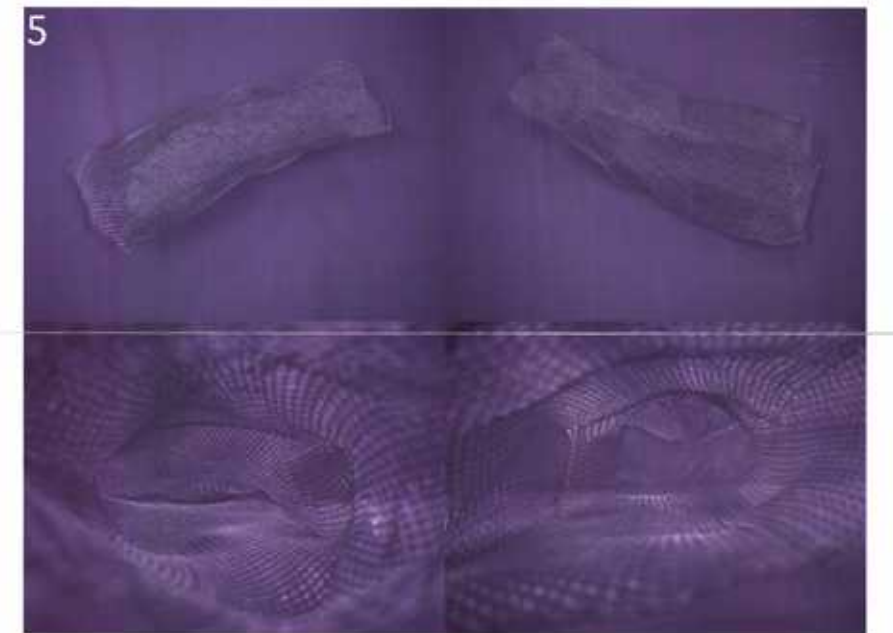
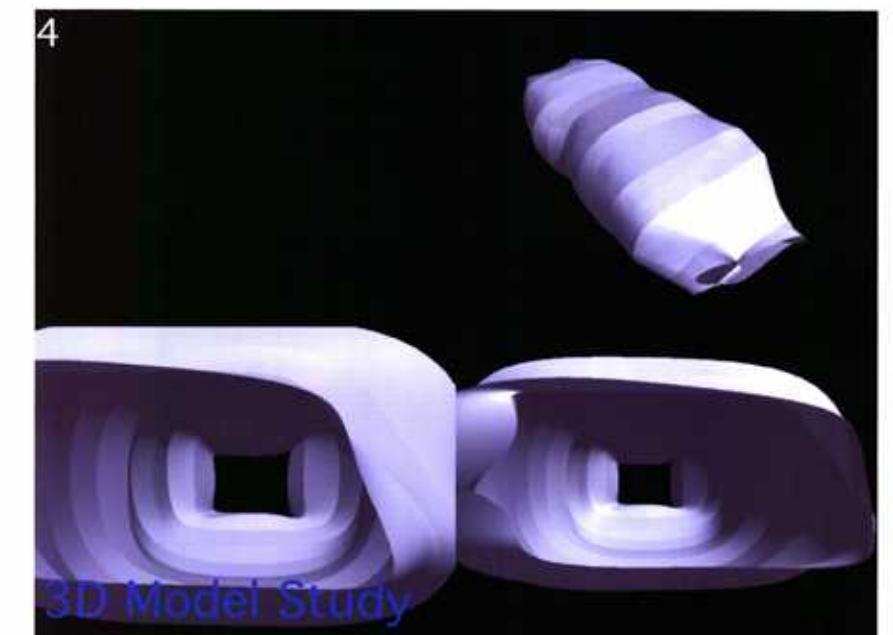
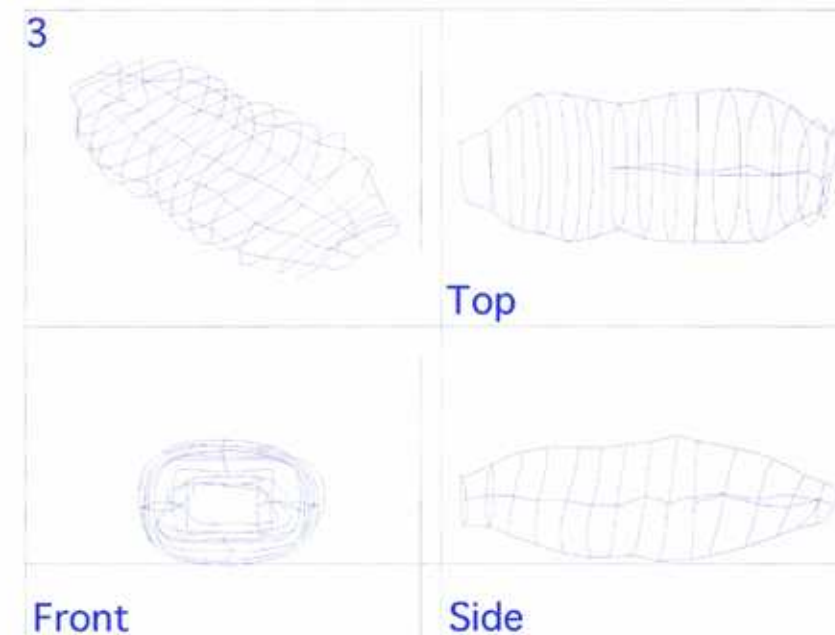
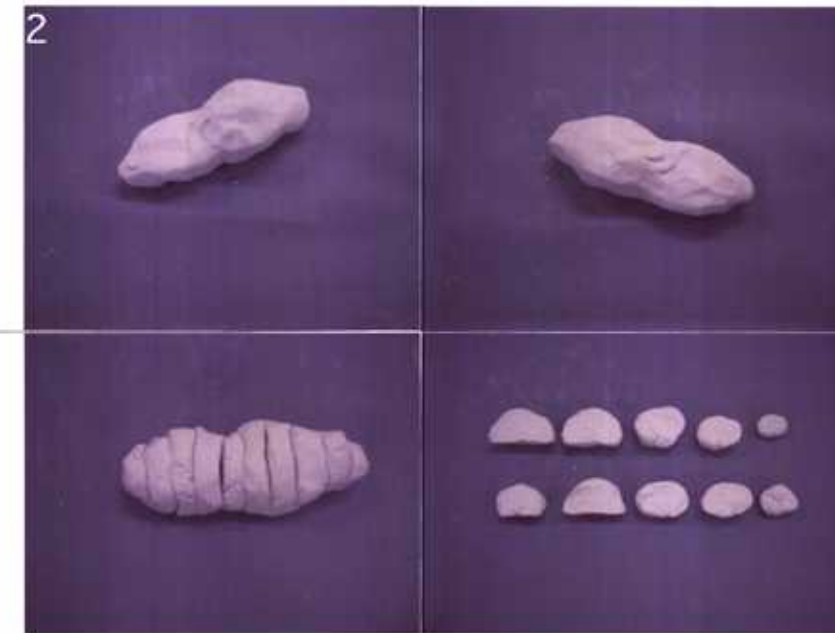
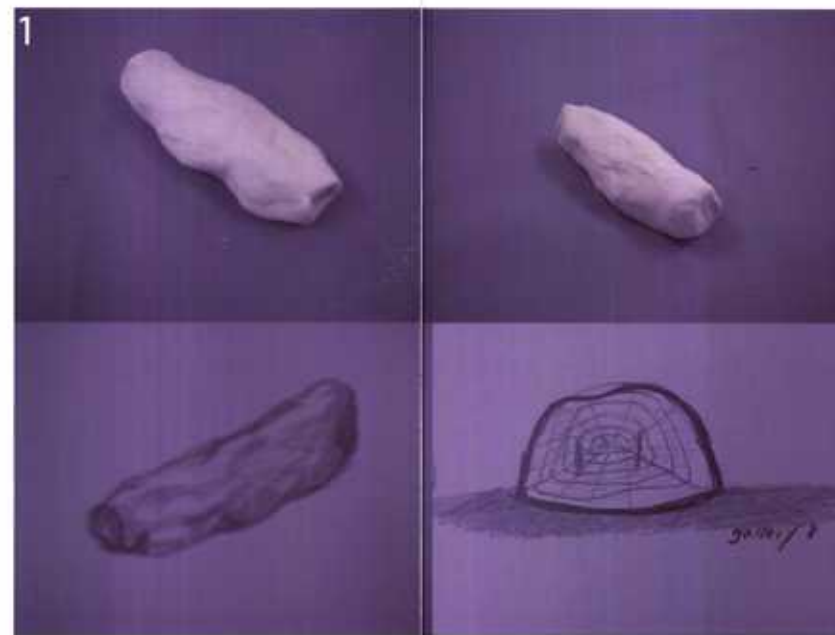
もし人間に精子の段階から記憶があるならば例えその記憶が脳に由来するものでなくとも人間の各々のパーツには、女性の身体の中を通過した記憶が存在する。その記憶を設計の手法として用いる。

設計手法

- 1 粘土で形を作成すると同時に内部、外部のスケッチをとる
- 2 粘土模型をスケッチと見比べて、変更して断面をとる
- 3 断面から数値を読み取り、パソコンにデータを入力する
- 4 データをもとに3Dモデルを作成し内部の空間を検討する
- 5 パソコンの3Dモデルをもとに、模型を作成し内部、外部を検討する。
- 6 内観パースを作成し決定する
- 7 各々のパーツを連結し、一本の道を作成する

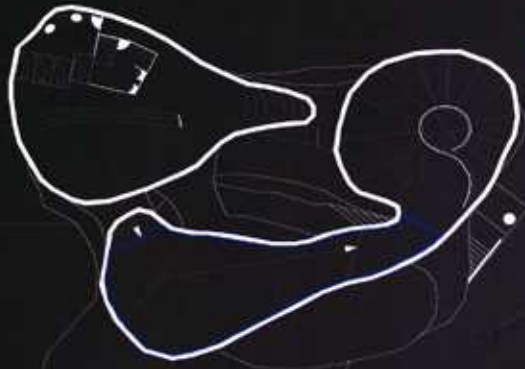
思考

建築的には、ほとんど何も考えなかった。自分自身の記憶の源泉を辿るように唯々単純に無心で手を動かした。結果的に一本の道が出来上がった。入口、出口の概念はなく選択すべき方向性すら存在しない。他者の意志によって移動させられやがて動いていることさえ忘れてしまう。この道はどこにも繋がってはいない。



GALLERY 11 核兵器

+25200 Level Plan
S=1:200



- 核兵器に対する警告×2
- 核実験の軍事写真×1
- 核実験による海への影響 グラフ×1
- 核兵器被害者の生存人口 グラフ×1
- 核兵器保持を掲げる某国指導者の支持率 グラフ×1
- 核実験による大気への影響 グラフ×1



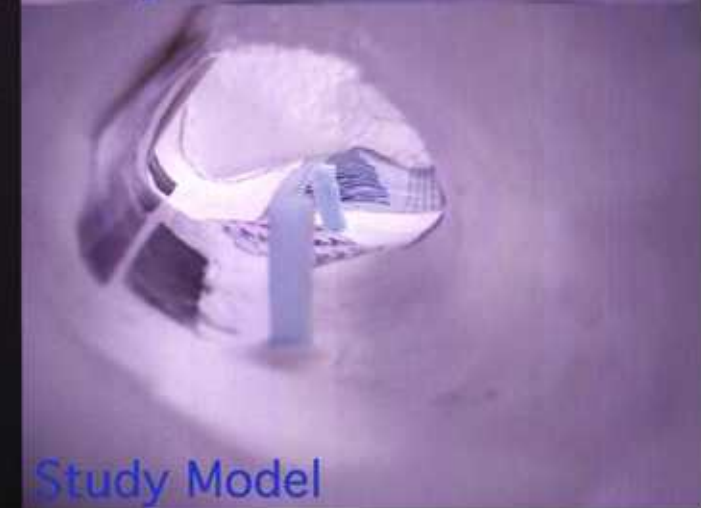
Inside View



Study Model



Study Model



Study Model



3D Model

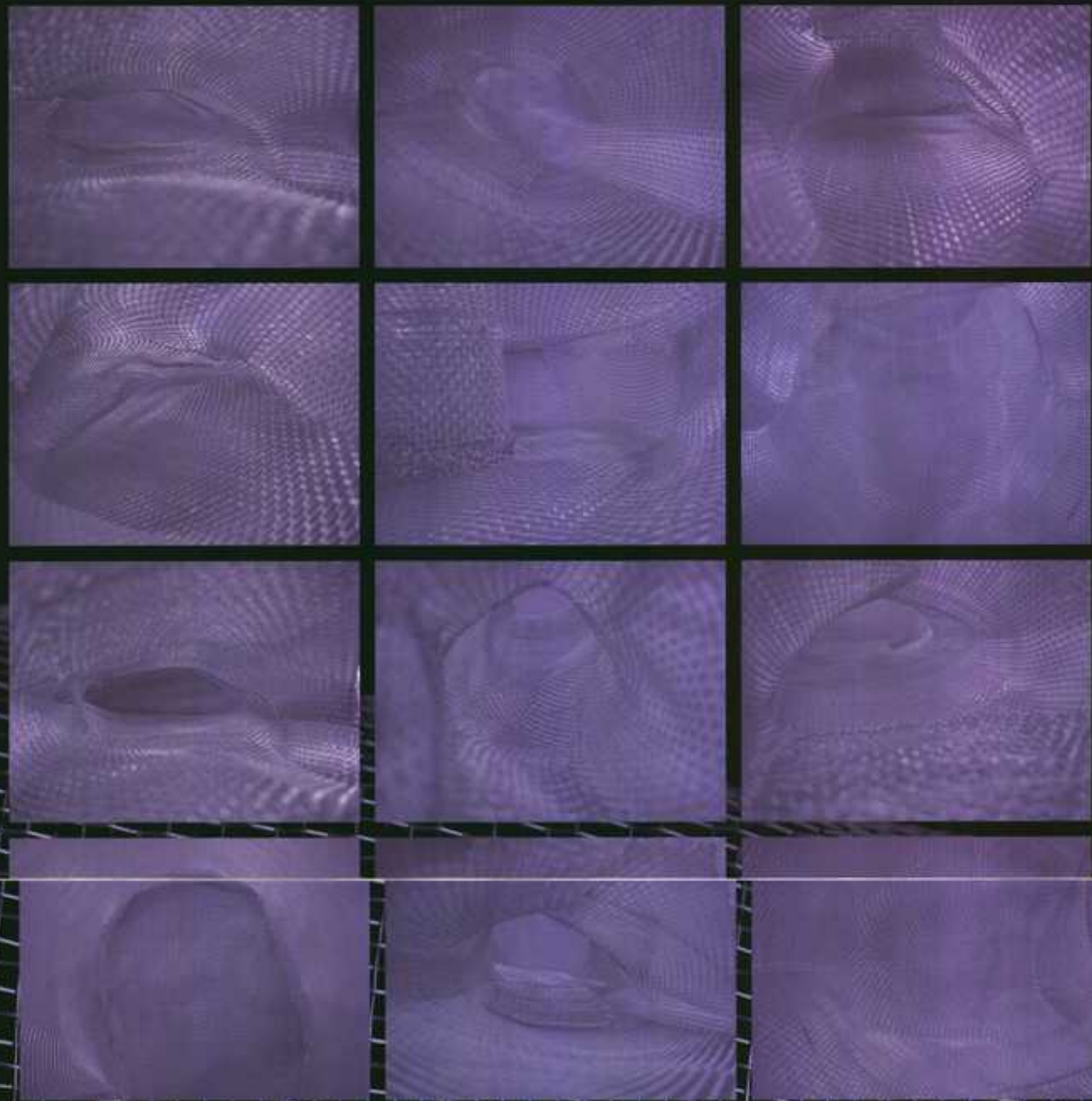


figure study

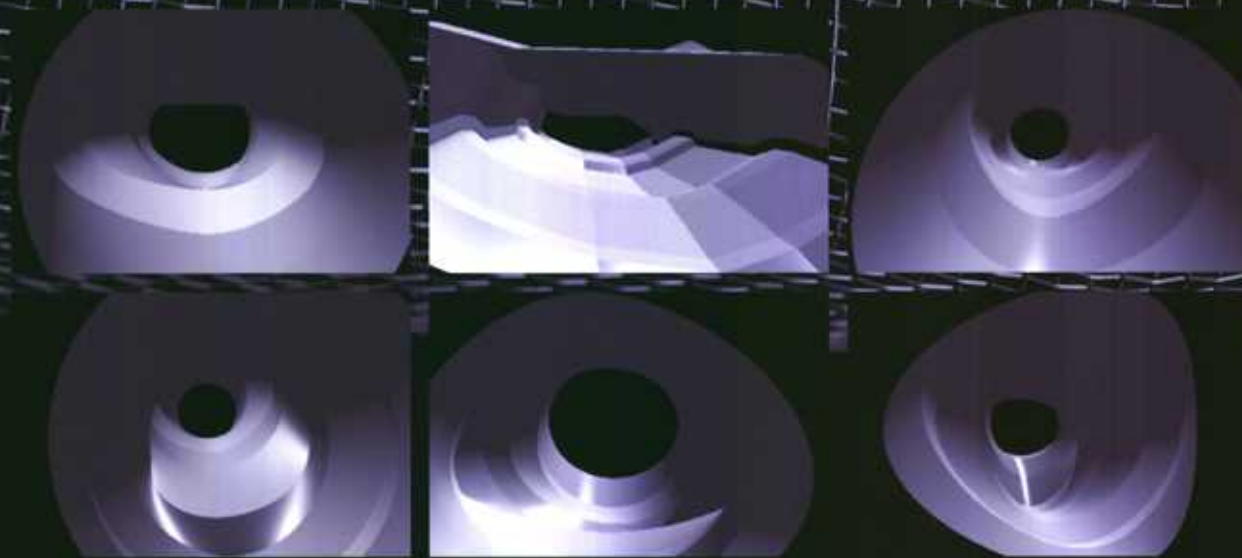
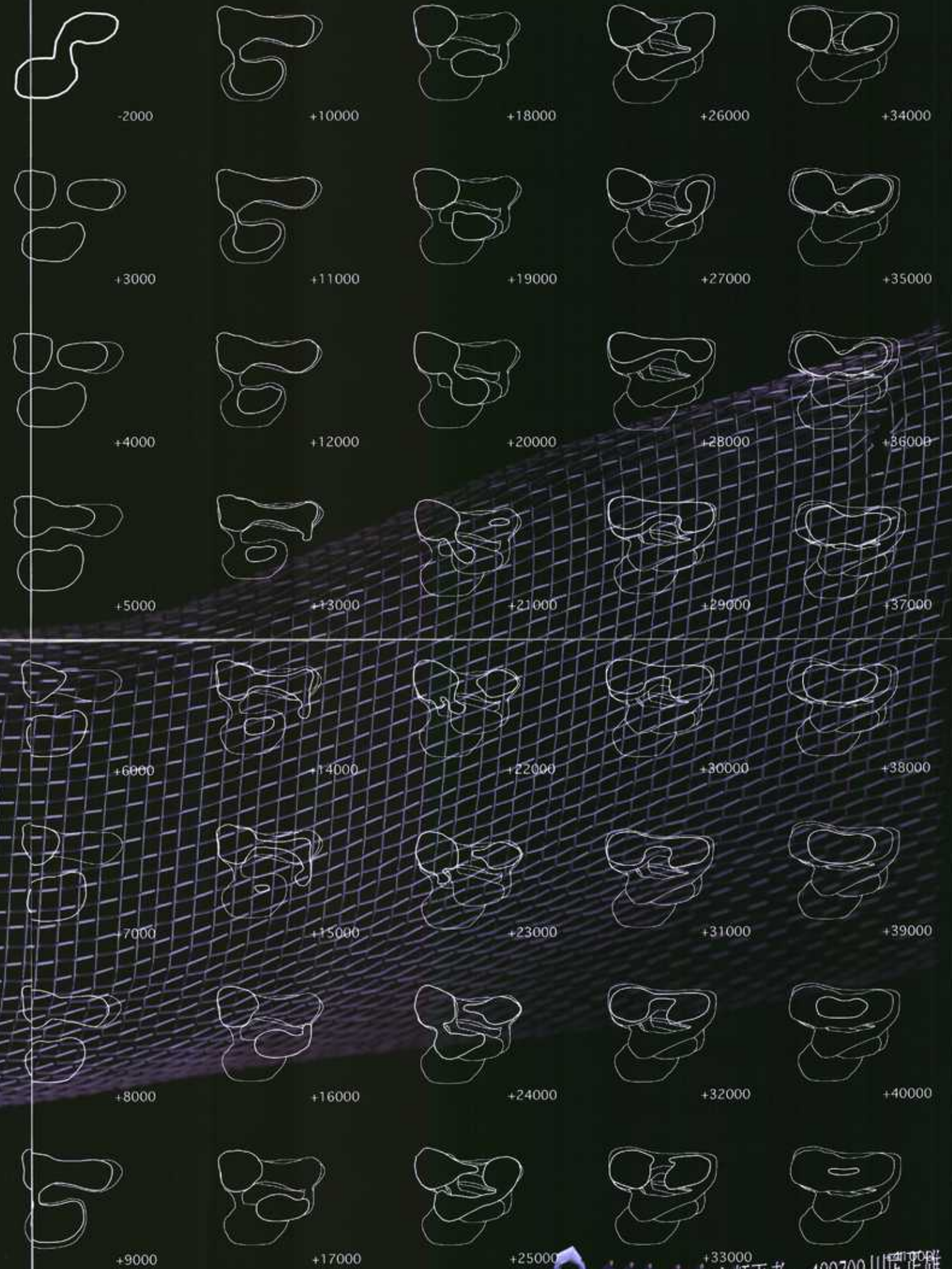
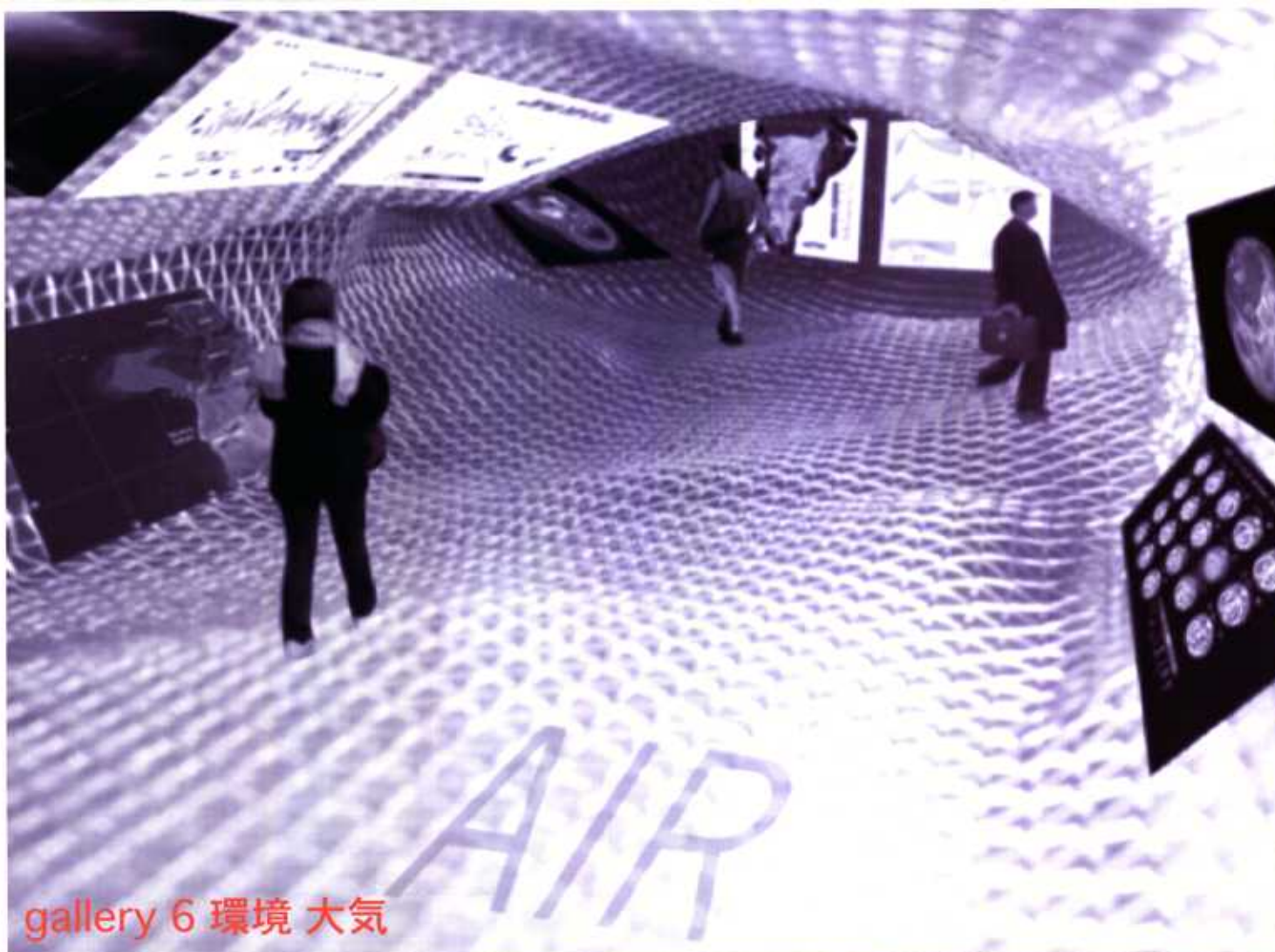


figure study



Conceptual Figure Model



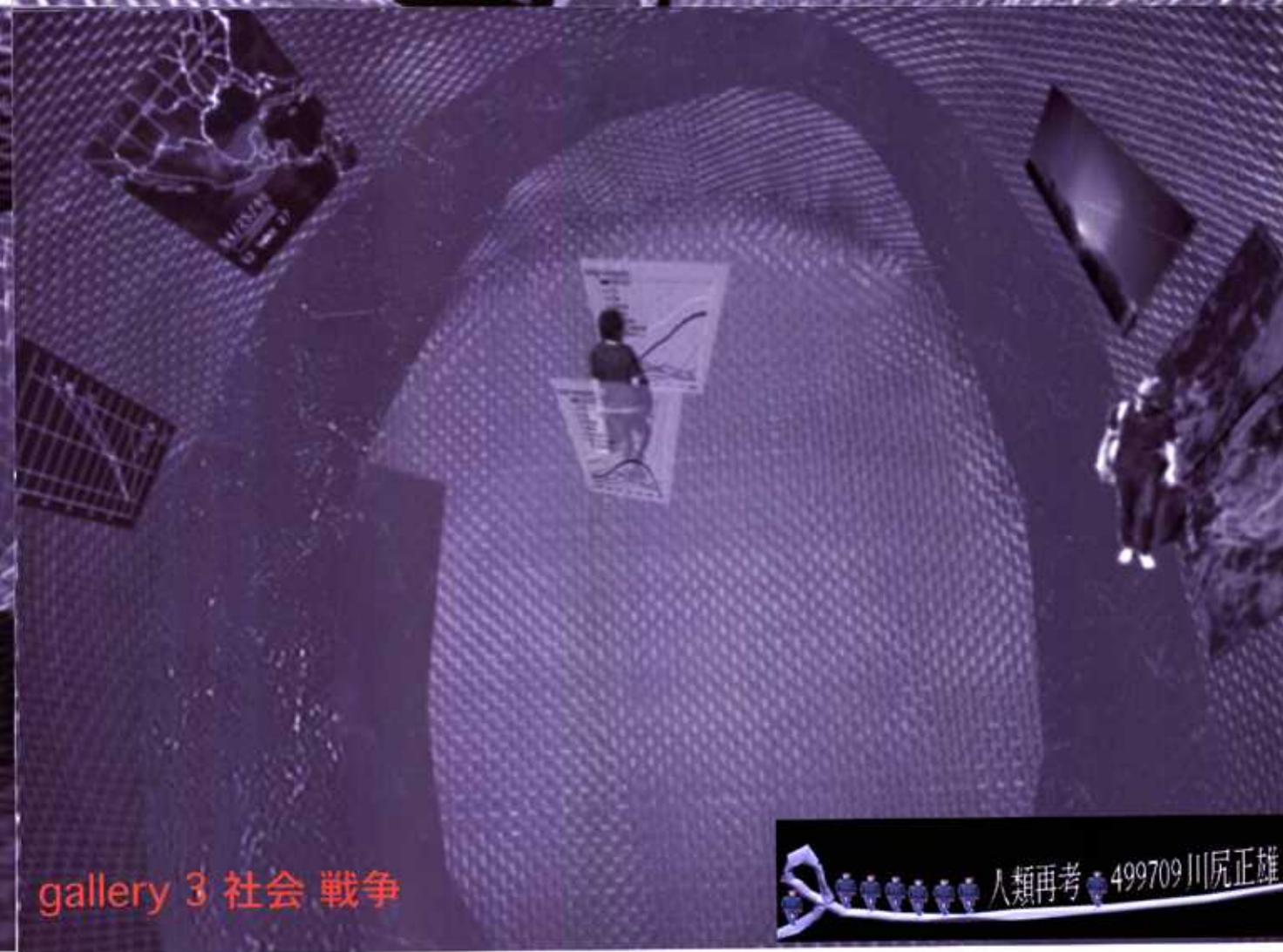
gallery 6 環境 大気



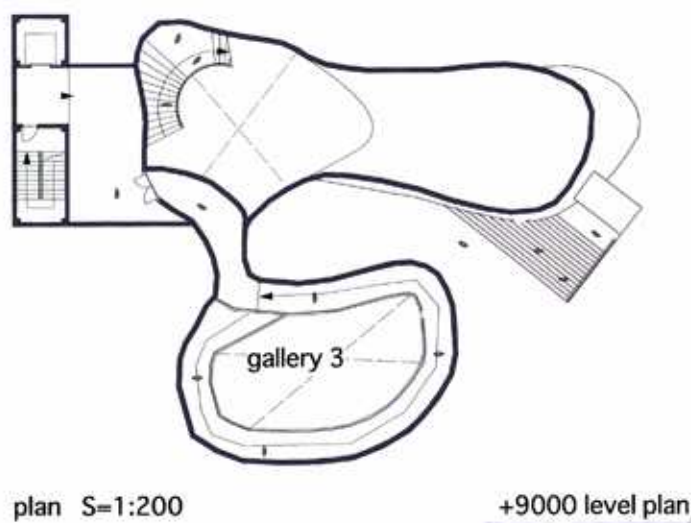
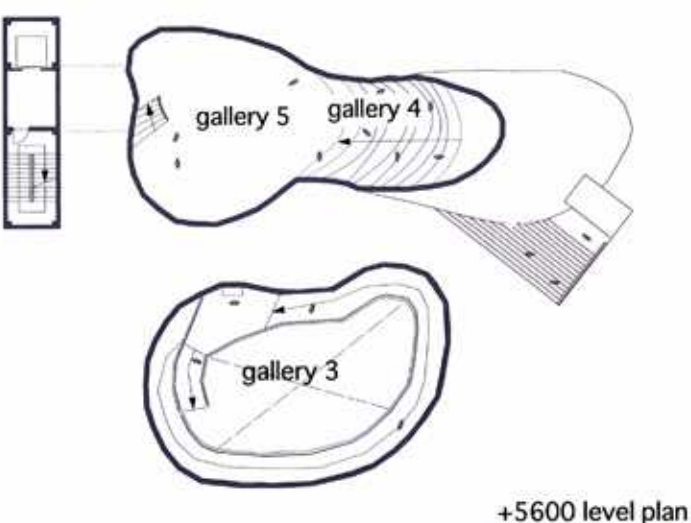
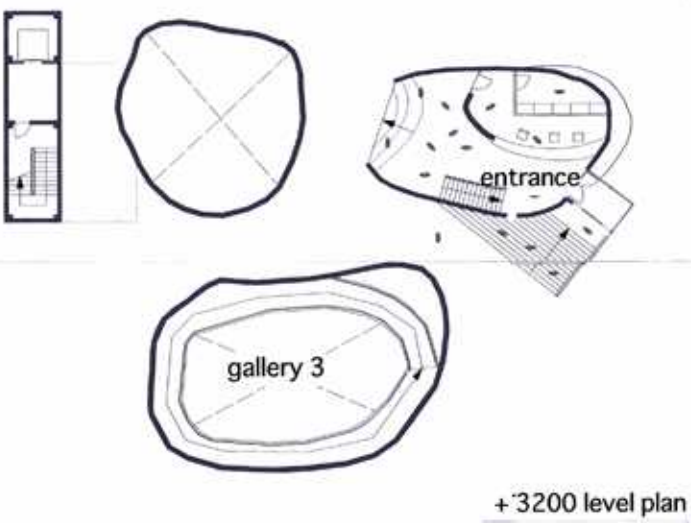
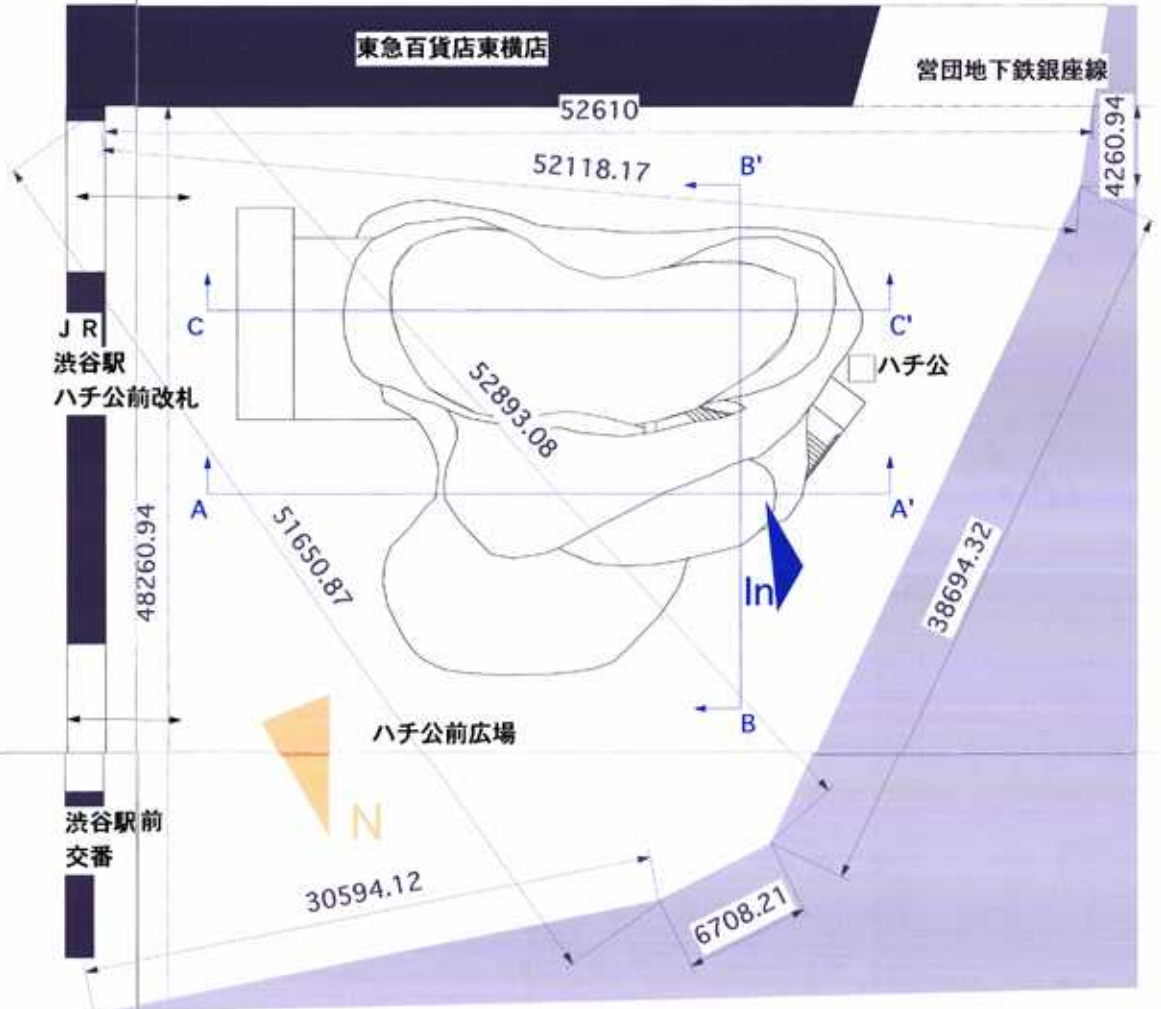
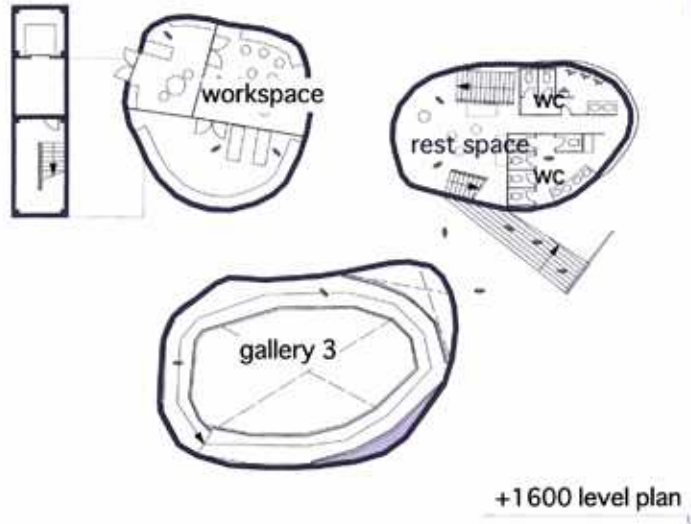
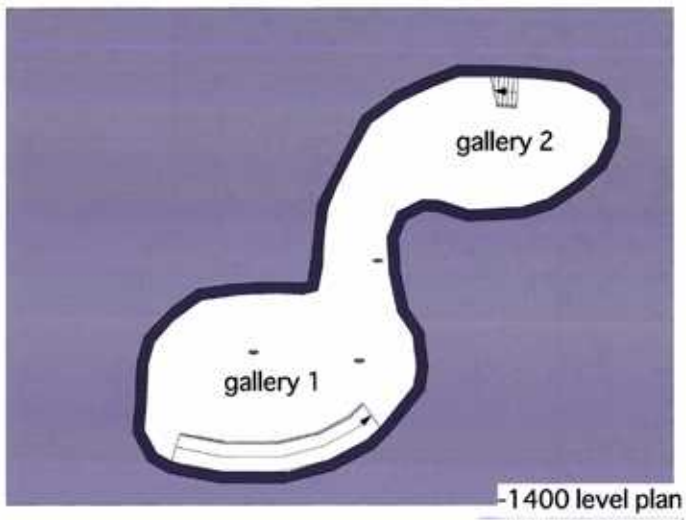
gallery 16 社会 原子力



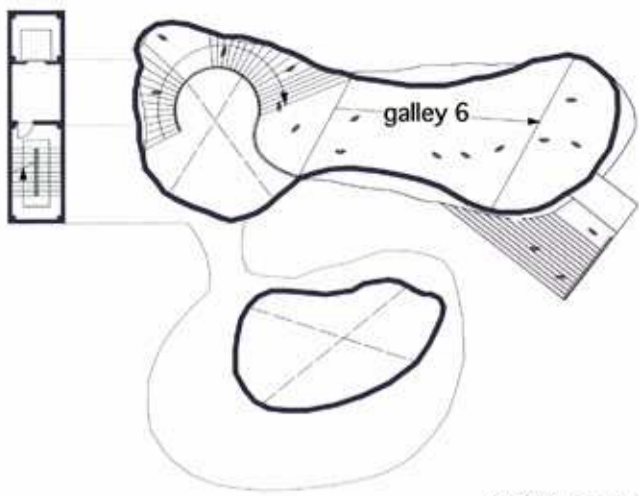
gallery 17 社会 コンピューター



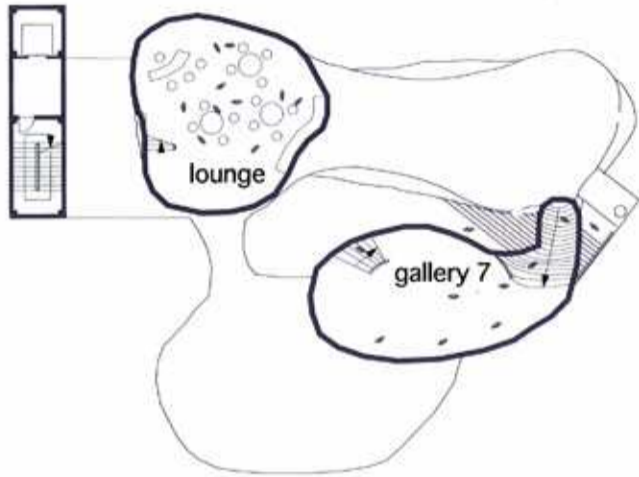
gallery 3 社会 戦争



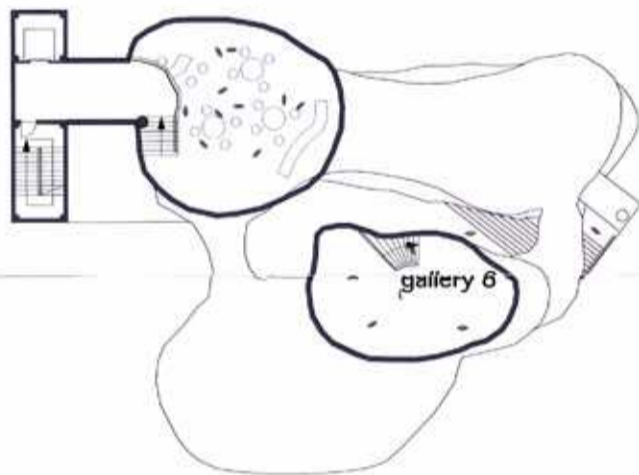
plan S=1:200



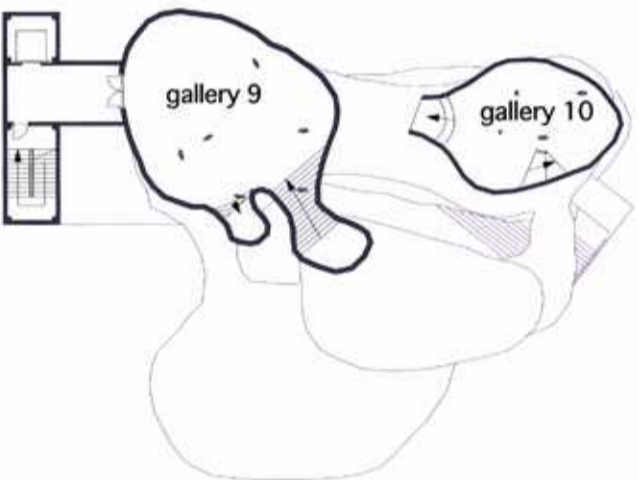
+12200 level plan



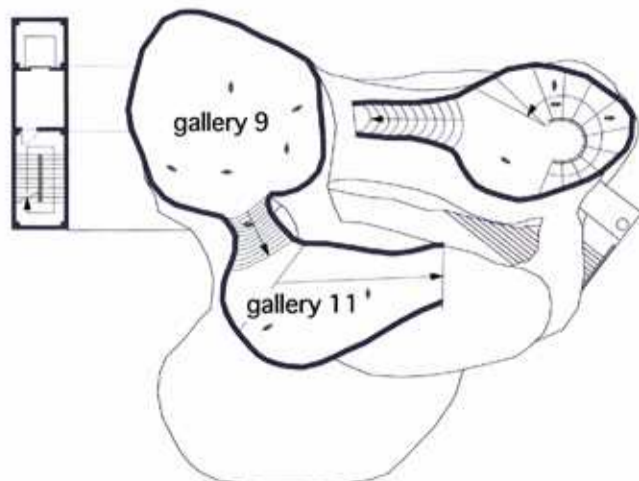
+16000 level plan



+18000 level plan

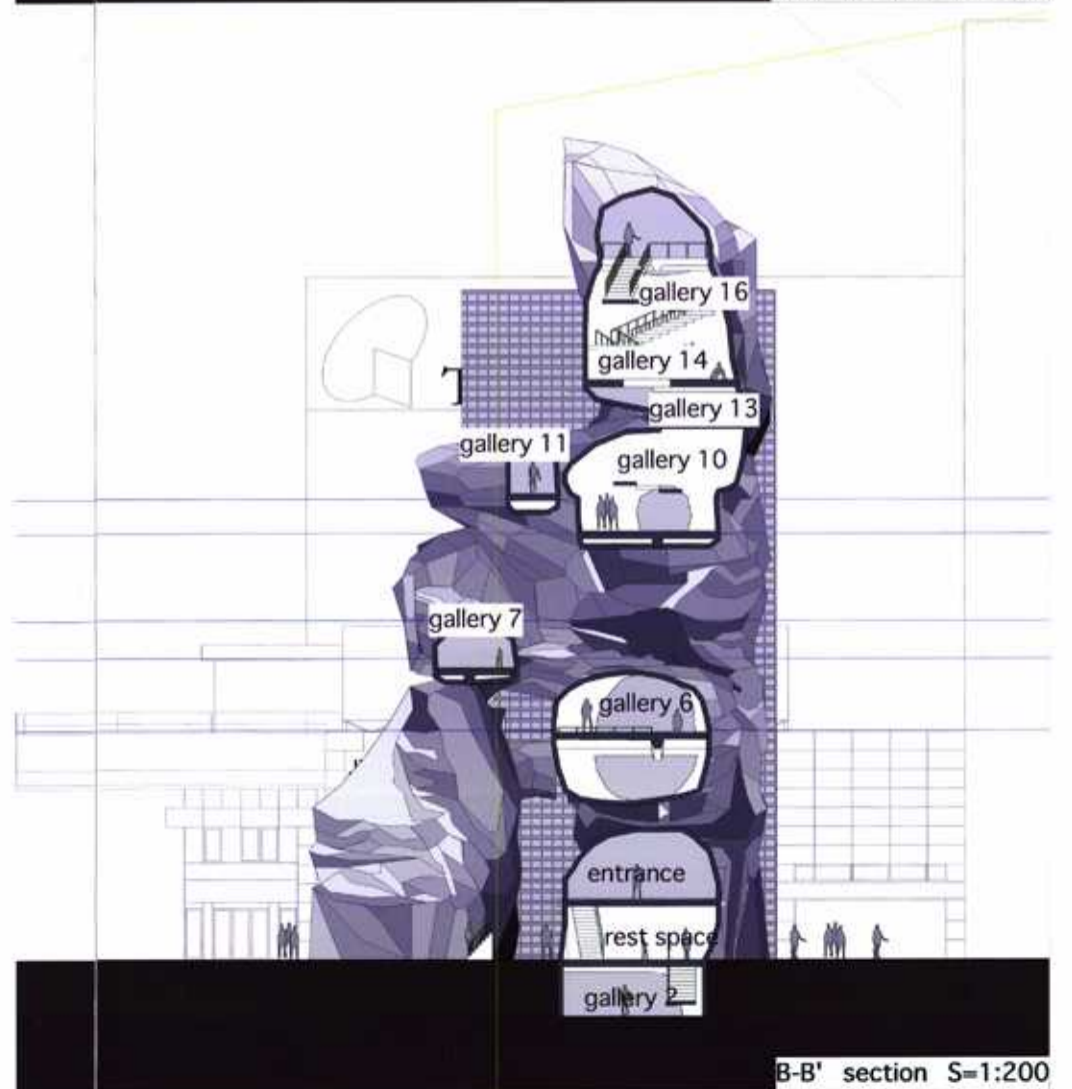
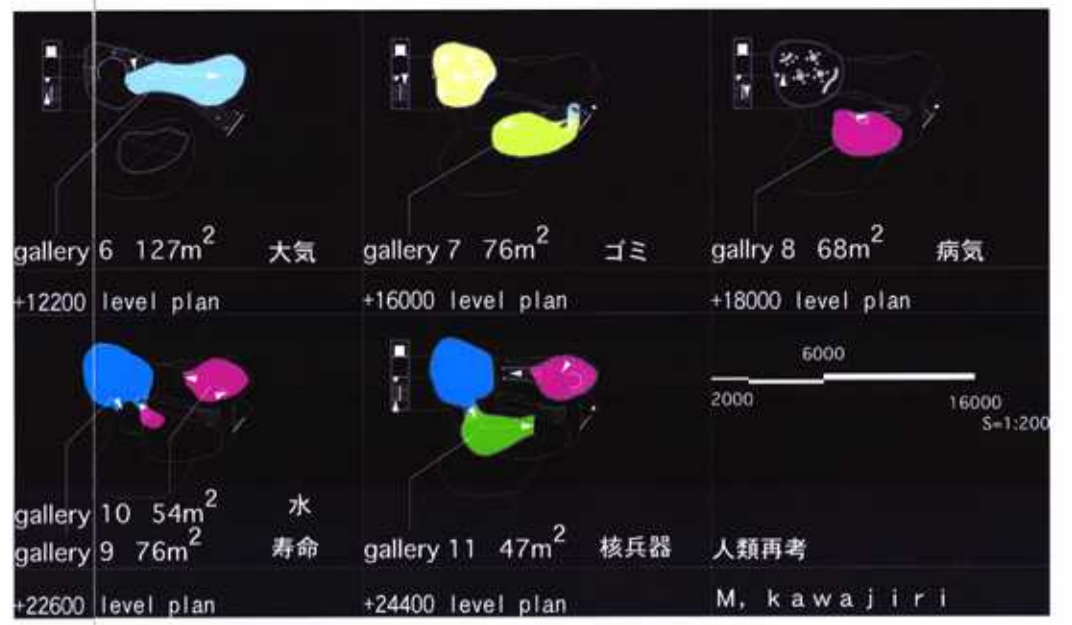


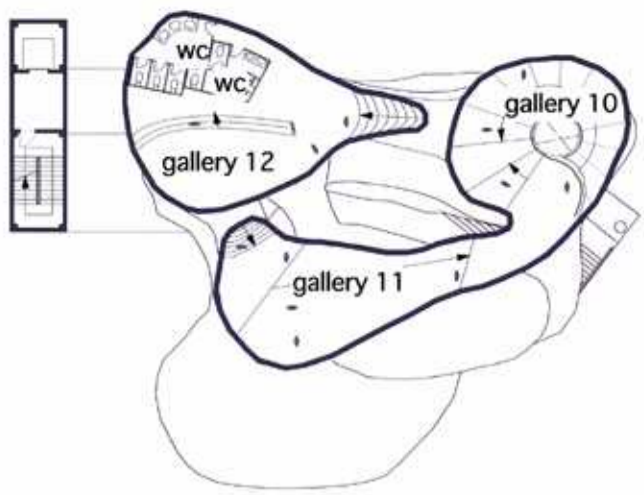
+22600 level plan



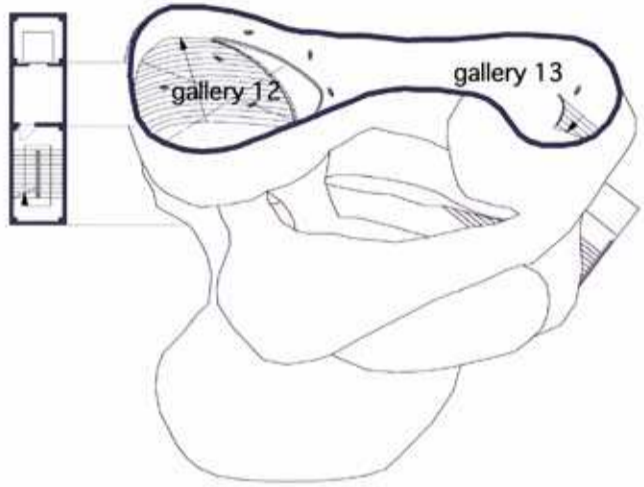
plan S=1:200

+24400 level plan

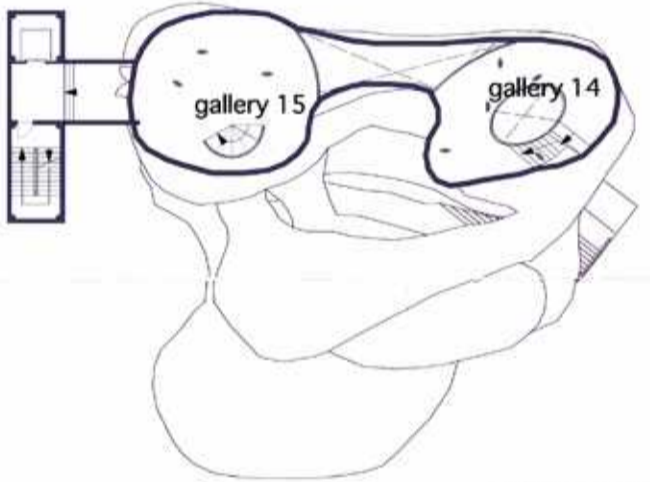




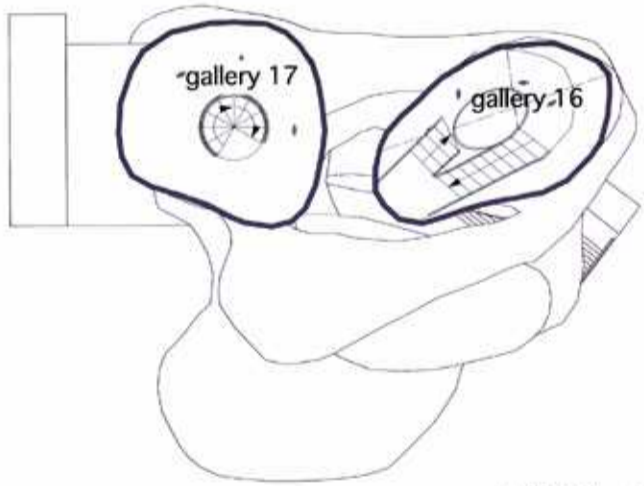
+25200 level plan



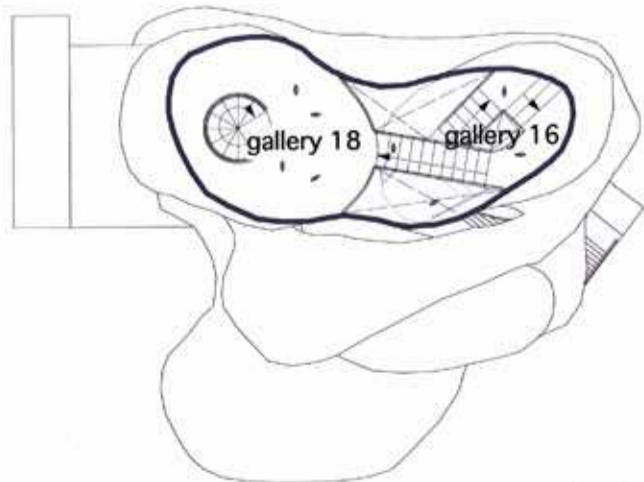
+29000 level plan



+30600 level plan



+34000 level plan



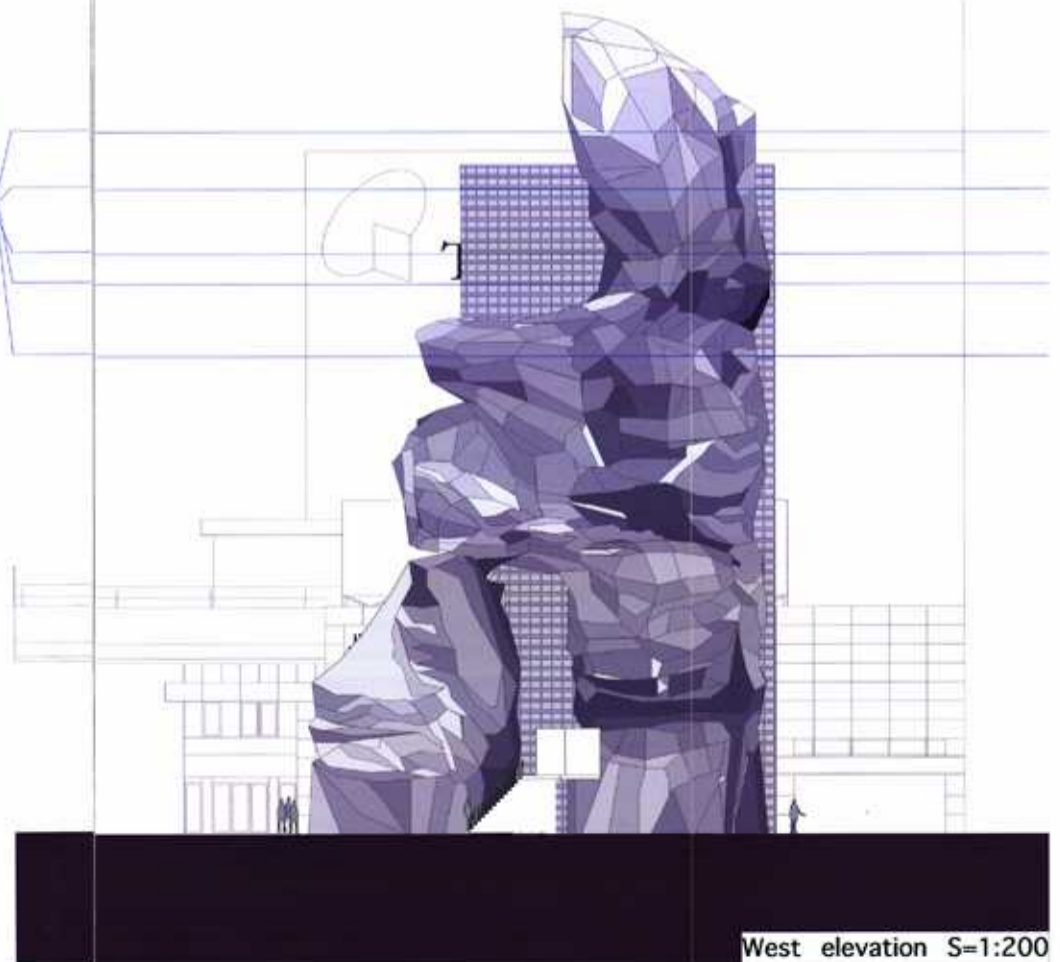
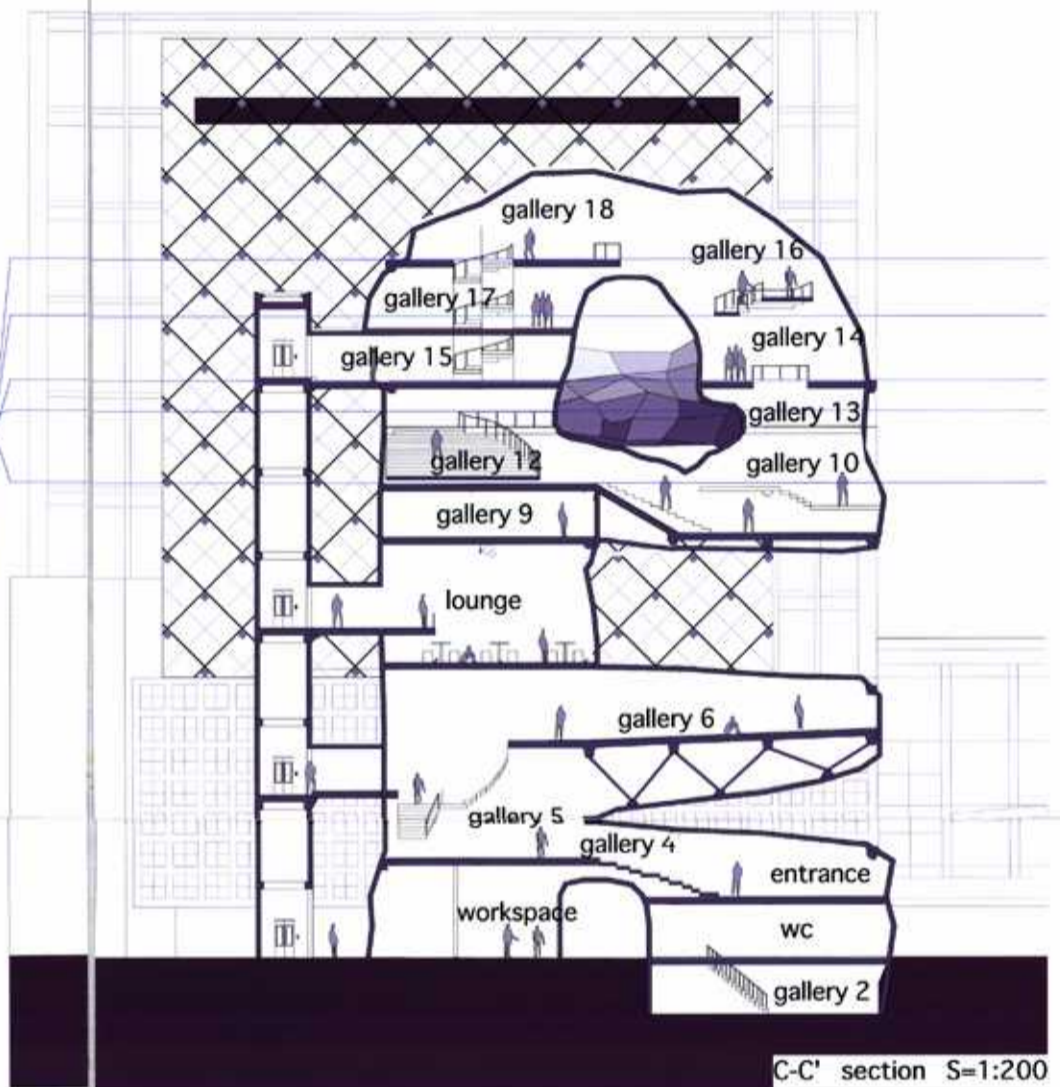
plan S=1:200

+37000 level plan

	gallery 11 47 m ² 核兵器 +25200 level plan		gallery 13 62 m ² 動植物 +29000 level plan		gallery 15 73 m ² 対抗策 +30600 level plan
	gallery 16 55 m ² 原子力 +34000 level plan		gallery 18 72 m ² 出生 +37000 level plan		gallery 14 64 m ² ウイルス +30600 level plan

6000
2000 16000
S=1:200

M. kawajiri



無意識の意識

人間には脳に依存しない記憶がある
人間が女性の胎内で作りだされる際の記憶
精子、栄養素、水分およそ人間とはよべぬ段階での記憶
その原始記憶には、人類の存在理由が隠されている
自分の手に残る原始記憶 その投影としての建築
ここで初めて人間は人類について再考する

無意識による内部の創造 その内部の連結により現れる外部
つまり無意識の意識により生まれる外観
看板、巨大液晶スクリーン等人間の意識に働きかける
目的を最大限に意識し作られた場所 渋谷
意識の狭間（ハチ公前広場）にこそ
無意識の意識が存在しえる

人間は外部においてのみ全体を把握できる
運命と同様にこの建物は内部において
全体を把握することはできない

